



## ゼブラフィッシュ実験ガイド

平田 普三 編著

B5・148ページ，定価：本体3,000円+税，朝倉書店

ゼブラフィッシュをモデル動物とした研究は2000年頃から盛んになり，発生学，ケミカルバイオロジー，フォワードジェネティクスの実験材料として用いられた。また，ZFN (Zinc-Finger Nuclease) による第一世代ゲノム編集においてもやはり，ゼブラフィッシュが実験材料として用いられたことから，現在まで最先端技術の検証や応用研究に活用され続けている。

本書は2020年11月1日に発行され，ゼブラフィッシュの日本語版ガイドブックとしては“Zebrafish Book”を補完する以上の最新情報が取り入れられた構成になっている。さらに，執筆者は各分野で最先端研究を牽引する研究者であることから，生物工学を専門にする研究者で新たな研究材料をお探しの方や高次生命現象の探求にゼブラフィッシュをモデルとしてお考えの方にお薦めの入門書になるであろう。

(三重大学 田丸 浩)